

# 佛教文學

第十八号

「佛教文學」既刊号総目次	大英博物館蔵『ゑんの行者』絵巻	中世仏教説話における〈食〉への視点	『続詞花和歌集』	水の靈力と能	「捨垣」をめぐって	高野山の夏安居と刈萱道心
彙報	辻	藤本	糸教部攷	千古	寺川	神身離脱を願う神の伝承
佛教文学会会則・役員名簿	英子	徳明	利恵子	山木	真知夫	—外来伝承を視野に入れて—
事務局だより	勉	英	ユリ	ユ		



「仏教文学」第八号・目次

西行と『菩提心論』 山田 昭全  
仏教と和歌—西行釈教歌注釈贊言—

西行和歌の表現と仏教的思念 久保田 淳

『沙石集』慶長本について 山木 幸一

明惠上人と京極派和歌 片岡 了

天台の五時八教と大鏡 岩佐美代子

『今昔物語集』卷十四の諸經靈驗譚について 国枝 利久

八坂流平家物語維盛入水の前後の章について 西海 淳二

仏教文学関係文献目録（昭和五十七年度） 米谷 悅子

彙報 岩佐美代子

仏教文学会員名簿（六・七号補訂分）

【昭和五十九年三月刊 実費一千二百円】

「仏教文学」第九号・目次 法然の方法—法語と釈教和歌の表現—

『古本説話集』の諸性格と問題点 梁瀬 一雄

仏教文学会員名簿（六・七号補訂分） 高橋 高橋

【昭和五十九年三月刊 実費一千二百円】

「仏教文学」第十号・目次 和讃の受容と変貌 武石 彰夫

『今昔物語集』における「天竺」 千本 英史

—意識と表現による天竺化をめぐって— 小峯 和明

仏教文学会員名簿（前号補訂分） 貢 貢

【昭和六十一年三月刊 実費一千五百円】

「仏教文学」第十一号・目次 「河海抄」注「女人為業障」の句を中心

に 今昔物語集にみる墮地獄者の位相

高橋 伸幸 前田 雅之

「仏教文学」第十二号・目次 「今昔物語集」にみる墮地獄者の位相

和讃の受容と変貌 武石 彰夫

—意識と表現による天竺化をめぐって— 小林 純子

仏教文学会員名簿（前号補訂分） 仲井 克巳

【昭和六十一年三月刊 実費一千五百円】

「仏教文学」第十三号・目次 「河海抄」注「女人為業障」の句を中心

に 今昔物語集にみる墮地獄者の位相

和讃の受容と変貌 武石 彰夫

—意識と表現による天竺化をめぐって— 小林 純子

仏教文学会員名簿（前号補訂分） 仲井 克巳

【昭和六十一年三月刊 実費一千五百円】

『平家』法然譚流伝考 渡辺 貞麿

往生の条件—『発心集』論のために— 山田 哲通

藤原俊成の釈教歌における伝統の継承 久保田 哲通

西行における白のイメージ 竹内 隆

西行における白のイメージ 竹内 隆

藤原俊成の釈教歌における伝統の継承 久保田 哲通

親鸞と層児往生説話 河田 光夫

二経の勝劣をめぐって—天台の義科と説話 廣田 哲通

出産と中臣祓—吉田兼俱『中臣祓抄』の周辺 久保田 哲通

西行の流傳—清涼寺釈迦像縁起譚をめぐつて 久保田 哲通

『夫婦宗論物語』研究 圓山 博宣

「救われざる者」から「救われうる者」へ—武田泰淳における浄土教的人間観「ひかりこけ」— 小林 純子

仏教文学関係研究文献目録（昭和五十九年度） 佐藤 泰代

彙報・執筆者紹介・新刊紹介 小林 純子

仏教文学関係研究文献目録（昭和五十九年度） 佐藤 泰代

彙報・執筆者紹介・新刊紹介 小林 純子

仏教文学会員名簿（前号補訂分） 佐藤 泰代

【昭和六十一年三月刊 実費一千五百円】

「仏教文学」第十三号・目次 「河海抄」注「女人為業障」の句を中心

に 今昔物語集にみる墮地獄者の位相

高橋 伸幸 前田 雅之

「仏教文学」第十四号・目次 「今昔物語集」にみる墮地獄者の位相

和讃の受容と変貌 武石 彰夫

—意識と表現による天竺化をめぐって— 小林 純子

仏教文学会員名簿（前号補訂分） 仲井 克巳

【昭和六十一年三月刊 実費一千五百円】

「仏教文学」第十五号・目次 「河海抄」注「女人為業障」の句を中心

に 今昔物語集にみる墮地獄者の位相

和讃の受容と変貌 武石 彰夫

—意識と表現による天竺化をめぐって— 小林 純子

仏教文学会員名簿（前号補訂分） 仲井 克巳

【昭和六十一年三月刊 実費一千五百円】

## 「仏教文学」第十四号・目次

日本靈異記の文体に関する一試論

—その多層性の意味するもの—

上田 設夫

積教歌における題詞と詠法について

檜垣 孝

方丈記「おろそかなれど哺を甘くす」私見

乾 克己

『秋夜長物語』考—仏教文学研究の一事例として—

廣田 哲通

『法華百座聞書抄』をめぐる基礎的研究（その二）

龍口 恵子

真福寺藏「因縁処」について

山崎 誠

「無名仏教摘句抄」について

後藤 昭雄

仏教文学学会会則 仏教文学学会会員名簿

鴨長明の回帰

河原木有二

『四生の歌合』と長嘯子『虫歌合』

小坂 典子

建礼門院徳子の戒師・印西について

大塚あや子

「仏教文学」第十七号・目次

藤堂 恭俊

法然上人のご遺文について 人麻呂歌の水泡と經典

寺川真知夫

『今昔物語集』天竺一部の年代分布  
—「仏後」「仏前」の意味するもの—

原田 信之

結縁の曉

小島 裕子

「慈尊「三会の曉」考—統詞花集「釈教」部について

鈴木 德男

琉球神道記の世界 ニューヨーク公立図書館  
スベンサー・コレクション 蔵『役行者繪巻』  
—解説と翻刻—

辻 英子

「仏教文学」既刊号総目次

彙報

仏教文学学会会則・役員名簿

事務局だより

【平成五年三月刊 実費一千五百円】

## 「仏教文学」第十五号・目次

事務局だより

【平成二年三月刊 実費一千五百円】

「仏教文学」第十五号・目次

「シンボジウム」物語と仏教 報告

物語と仏教

出家談と悲恋遺世談

物語精神と仏教との関連 渡辺 貞麿

「さきめごと」と天台教学 関口 忠男

わが国初期僧伝の形成

—『梁高僧伝』「訳經」篇の日本の変容 藏中しのぶ

建礼門院徳子の戒師・印西について

大塚あや子

鴨長明の回帰

河原木有二

『四生の歌合』と長嘯子『虫歌合』

小坂 典子

建礼門院徳子の戒師・印西について

大塚あや子

鴨長明の回帰

河原木有二

## 「仏教文学」第十六号・目次

【平成三年度大会シンポジウム 仏教行事と文学】報告（一）

平安文学と仏教行事

山中 裕

「とはすがたり」における仏事

同 報告（二）

院政期の本説と日本紀

小川 豊生

「道行き描写に於る救濟の表現構造と伝承

阿部 泰郎

「法華百座聞書抄」をめぐる基礎的研究

「真名本 曾我物語」共時体験の回路

「法華百座聞書抄」をめぐる基礎的研究

（その三）—「千日講」の構造—

龍口 恵子

「日本靈異記」観音説話と法会唱導

中村 史

「法華百座聞書抄」をめぐる基礎的研究

（その三）—「千日講」の構造—

龍口 恵子

「日本靈異記」観音説話と法会唱導

中村 史

「法華百座聞書抄」をめぐる基礎的研究

（その三）—「千日講」の構造—

龍口 恵子

「法華百座聞書抄」をめぐる基礎的研究

龍口 恵子